

他のどの掃除機よりも確実にゴミを吸い取ります

試験方法

ダイソンは、掃除機の性能試験では唯一の国際規格とされる IEC* (国際電気標準会議) 規格に従って、吸引力や集じん性能(ゴミを取る能力)の性能試験を実施している。

ゴミを吸い取る性能、つまり集じん性能は「集じん率」で表される。指定されたクリーニングサイクル中に除去されるじんあい(「塵埃」。チリ・ホコリのこと)が、試験範囲上に散布されたじんあいの全体量の何パーセントにあたるかを表す。この試験は硬い床(フローリング)、硬い床の溝(一般的なフローリングに見られる、板と板の間の溝)とカーペットで行うことが規定されている。また、日本の家庭環境により即したものとするため、IEC では規定されていない畳でも同様の試験を行っている。それぞれの床面において、試験は 2 回又は 3 回(床面によって異なる)実施して平均値を得るよう、IEC では規定されている。

*IEC は、主に電気工学や電子工学関連の技術の国際規格化・標準化を目指す国際的機関で、その規格は、国際標準規格として、日本を含む世界 150 の国々で採用されている。また、世界各国の掃除機メーカー・科学者・微生物学者・試験の専門家などの意見を取り入れ、掃除機の性能試験では、唯一の国際規格とされる試験規格も定めている。日本工業規格(JIS)の制定や、JIS マーク指定等に関する審議・標準化政策の策定をすすめる日本工業標準調査会(JISC)も IEC のメンバーであり、世界の工業の発展のため、国際規格化・標準化の策定をともに推進している。詳しくは「IEC について」を参照。

試験対象機種

ダイソンを含む売上上位6メーカーにおける売上上位のプレミアム掃除機(平均5万円以上の機種。2013年9月時点の調査会社データに基づく)が対象。独立第三者試験機関であるIBR(英国)によって試験を実施。

試験結果 (性能上位の 4 ブランド 4 製品を掲載)

	DC63 モーター ヘッド	他のプレミアム 掃除機 1	他のプレミアム 掃除機 2	他のプレミアム 掃除機 3	他のプレミアム 掃除機 4
ダストカップが 空のとき	93%	82%	65%	65%	63%
ダストカップが 満杯のとき	93%	66%	55%	51%	53%

掃除機の性能試験における国際規格に準じた試験の結果、ダイソン DC63 は集じん性能が最も高く、最も多くのゴミを吸い取ることが示されている。